

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」沼津金岡校			
○保護者評価実施期間	2025年12月1日 ~ 2025年12月20日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	48	(回答者数)	26
○従業者評価実施期間	2025年12月1日 ~ 2025年12月20日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月13日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・職員間でのコミュニケーションが多く、情報共有がよくなされている。	・それぞれが疑問に思ったことをすぐに確認できるような環境やかかわりを意識している。 また1人の子どもに対して複数の職員が交代で支援に取り組むことで現在の子どもの状況について全体で把握、相談がしやすいようにしている。	・情報の伝達方法についてはそれが分かりやすい形式を考え工夫している。今後会議や記録の質を高めることで、個人間での情報の伝達だけでなく、全体共有の効率的な実施方法を検討するようにしていく。
2	・支援後のフィードバックを丁寧に行っている。	・支援内容や様子を伝えるだけではなく、子どもの現われから今後の活動の見通しや家庭で参考に出来るかかわりのヒントをお伝えできるよう意識している。	・経験値や知識量によってフィードバックでお伝えるできる内容に差が出来てしまう。職員1人1人がご要望に応じて更に適切な返答ができるよう、職員間での引継ぎ時に出来るだけ具体的に伝えられるように意識を高めている。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・外部研修など他の事業所での取り組みを参考にする機会が少なく、新しい取り組みが少なくなってしまった。	・職員配置の変更があった後に立て直すまでに時間がかかってしまった。	・職員の配置状況に応じて、業務内容や量の調整を効率的に行う必要があった。そのため配置の変更がある前から業務の分担について想定し、すぐに対応できるようにしていく。
2	・集団支援の実施が少ない。	・小集団活動のために支援日の調整を行う必要があるが、支援日の変更を簡単に行えない家庭も多く、積極的な実施は行わなかった。	・個別対応中は課題が見えにくいお子さんがいる。集団内の現れを確認するため、支援の途中で小集団の活動に変更することを増やしている。今後計画的に小集団活動を行う際の参考に出来るようにしていく。
3	・実際の支援の様子についての共有がSNS等から発信しきれていない。	・SNSの発信について固定化されてしまっていた。	・配信内容について担当する職員と話し合い、頻度や内容について見直していく。

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	こどもサポート教室「きらり」沼津金岡校
------	---------------------

公表日 2026年 2月 14日

利用児童数

48

回収数

26

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	25	1	0	0		・年齢やお子さんの特性に合わせて活動スペースを決めている。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	26	0	0	0	1対1で必ず行なわれているし1日の先生の人数も適切と考えるため	・基準人員以上の職員を配置している。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	26	0	0	0		・スケジュールボード等を活用して、分かりやすい環境を整えている。また、全員に守ってほしいお約束は規定化している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	26	0	0	0	1時間ごとに先生たちが部屋を掃除しているためいつも清潔が保たれていると思います。	・支援終了後に、机・椅子の消毒を行い、清潔を保つようにしている。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	25	1	0	0	専門のOT、STが常に1人いて欲しいです。その日の子供の状況により活動内容を変えて支援して顶けるため理解して下さっていて、専門性があって丁寧な支援を受けられています。	・それぞれののお子さんに合わせた支援プログラムを用意し、適切な声掛けを心掛けています。
	6	事業所が公表している支援プログラム（※2）は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	25	1	0	0		・プログラムの公表を行っている。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）（※3）が作成されていると思いますか。	25	1	0	0		・毎回のフィードバックによって聞き取った内容を元に計画の作成を行っている。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	26	0	0	0		・計画作成時に本人支援、家族支援、移行支援それぞれについて説明を行っている。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25	1	0	0		・ミーティングや個人間での引継ぎを通じて計画内容に応じた支援を行なうように意識している。
	10	事業所の活動プログラム（※4）が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	25	1	0	0	色々なゲームやルールのある遊びを通して工夫されていると思います	・活動プログラムは前回の支援の様子に応じて内容を検討し、固定化するかどうか判断している。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	2	15	7	なくていいです。	・ご希望されない方もいるため、必要に応じて対応していく。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23	2	0	1		・契約時に説明を行っている。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	24	1	1	0		・計画作成時に説明を行っている。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレン特訓・トレーニング（※5）等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	5	9	5		・張り紙することで外部研修を共有している。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	26	0	0	0		・フィードバックを行う事で、気になる点などを共有している。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	22	4	0	0	いつも受けられています。	・保護者の希望に応じて、対応している。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23	3	0	0	がんばったことなどや出来たことを褒めてくださって、本人だけでなく親も頷みになっています。	・お子さんの自己肯定感を高められるようなかかわり方を意識している。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	2	11	10		・開催は出来ていないが、保護者会などを検討している。

非常時等の対応	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20	4	0	2	すぐに対応して下さっています。	・契約時に相談対応について説明している。また指導員が必要性を感じた際に児発管に共有され、相談対応を行う事がある。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	24	2	0	0		・フィードバックの時間を必ず確保している。・LINEを活用して情報共有できるようにしている。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	16	2	1	7	個人的にブログ配信をもう少し増やして欲しい	・ブログやSNSを定期的に更新している。支援中の写真については希望に応じてLINEで共有することもある。ブログの更新回数を見直していく。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23	0	0	3		・個人情報の取り扱いについて契約時に説明を行っている。
満足度	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	21	0	0	5		・作成したマニュアルは玄関に設置して閲覧できるようにしている。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18	0	0	8		・月に1回の防災訓練を行い、ブログで紹介している。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	22	1	0	3		・安全計画を作成し、安全面への配慮を行っている。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20	0	0	6		・怪我についてはフィードバック時に必ず保護者に共有するようにしている。
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	26	0	0	0		・お子さんのその日の様子をよく観察し、本人が安心して活動が進められるようにしている。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	23	3	0	0		・お子さんが楽しめるように、様々な支援グッズやプログラムを用意している。
	29	事業所の支援に満足していますか。	26	0	0	0	いつも丁寧で、細かく支援内容のお話を聞かせていただいてありがとうございます。 とても満足しています。	・支援見学の促しをし、実際の支援場面についてイメージしていただけるようにした。

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	こどもサポート教室「きらり」沼津金岡校	公表日	2026年 2月 14日	
環境・体制整備	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点
	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・お子さんの特徴に合わせた活動スペースを毎回指導員間で相談して決めている。
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・基本人員以上の指導員を必ず配置できるようしている。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・張り紙をすることで、危険なことや意識することを分かりやすく示している。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・毎回の清掃により、清潔に支援室や療育用品を保てるようにしている。
業務改善	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・個別で利用できる部屋があるため、状況に合わせて使用者を判断している。
	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・職員全体で話し合いを行うようにしている。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・LINE配信を取り入れて評価アンケートを配布することでご意見を多くいただけるようにしている。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・職員が都度意見を発信してくれており、改善点を検討することができている。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	・現在実施できていないため、必要に応じて実施を検討していく。
適切な支	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・社内研修への参加だけでなく、経験の長い職員を講師とした研修、外部研修等様々な形を取り入れている。
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・HPに掲載している。
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・日々おさんの様子を共有することで、アセスメントを継続し計画へ取り入れができている。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・普段の引継ぎを含め、担当している職員の意見を取り入れながら計画の作成を行っている。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・計画がすぐに確認できるようにしている。
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・年に1度アセスメントシートを作成しているが、日々の様子を共有することでインフォーマルなアセスメントも行えている。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・必要な項目については計画を設定して説明をしている。計画内容に関わらず、必要に応じて支援を進めている。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・個々の引継ぎを行う事でプログラムの見直しがなされている。必要に応じて全体で活動内容を見直すようにしている。

援 の 提 供	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・固定化が必要なお子さん以外は、支援内容を工夫して活動意欲が沸くようにしている。	
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		・お子さんの希望に応じて集団活動を取り入れるが、怪我等の心配がないか十分に検討してから実施している。	・計画に集団活動を組み込むことができていないお子さんもいる。しかし集団活動への意欲が出てきた際に支援に取り入れることを都度検討している。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・全体で情報共有をしながら、細かい内容の設定については個々での引継ぎにより決定している。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・支援終了後は時間が取れないため、次の日に情報共有を行っている。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・日々支援記録を入力している。支援記録の確認と口頭での伝達により支援内容について研修している。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・職員への聞き取りを行い、支援の方向性について定期的に見直している。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	○		・年齢や特性等を加味して、個々に応じた支援を検討し、適切な活動を提供できるようにしている。	
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・支援内容や順番などお子さんの意見を取り入れることを必ず行っている。	
	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・基本的に児発管が参加するが、職員体制が安定したため、今後指導員の参加も検討していく。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・特定の期間との連携は取れている。更に連携できる機関を増やせるようにしていく。	
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。		○		・保護者を通じて情報共有しており、直接的な情報共有はケース会議にとどまっている。必要に応じて直接の情報共有を依頼していく。
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○		・就学前の園への情報共有依頼は行ったことがない。必要に応じて協力を依頼していく。
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		・依頼に応じて相談支援事業所への情報提供は行っている。	
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○		・昨年度、児童発達支援センター主催の研修に1度参加できた。参加機会をさらに増やしてスーパーバイズを受ける機会を設けられるようにしていく。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。		○		・集団内の活動を希望される方は少なく、地域での活動は計画していない。今後希望が増えた場合、交流の機会を検討していく。
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		・できる限り参加できるように調整している。	
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・フィードバックの時間を確保しているため、都度情報共有を行えている。	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレン特レーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・必要と判断した場合に保護者と本人と職員で話し合いの機会を作るようしている。	
	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時に説明を行っているが、ご質問に合わせて改めて説明することもできる。	
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・計画作成時だけではなく、日常の課題に対して相談があれば以降に合わせて支援内容を柔軟に変更している。	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>		・計画内容は説明を行い、保護者の了承の元サインしていただいている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>		・ご相談があった際は相談に応じ、出来るだけ具体的な提案をさせていただくようしている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		<input type="radio"/>		・保護者会の開催を検討しているが、まだ実現できていない。ご希望についてお伺いするようにしていく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>		・相談の申し入れがあった際は、職員間で共有を行い児発管への報告後、すぐに対応するように仕組化している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	<input type="radio"/>		・月1回カレンダーを配布したり、ブログ、SNSを活用して情報をお伝えしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>		・契約時に個人情報の取り扱いについて説明を行い、情報の扱いに十分注意している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>		・支援内容の報告や相談対応時に、お伝えする内容や言葉選びに気を付けて対応させていただいている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		<input type="radio"/>		・防犯上の観点から地域交流は控えている。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>		・各種マニュアルを玄関に回覧できるように配置している。また、会社として訓練を実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	<input type="radio"/>		・BCPを策定し、災害を想定した訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	<input type="radio"/>		・基本情報シートの記入をお願いしており、お子さんの情報を共有して頂けている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		<input type="radio"/>		・食物アレルギーについて対応が必要な場面はない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>		・会社として安全管理について研修が行われている。事業所内でも安全面への対応を日々確認している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input type="radio"/>		・契約時に確認を行っている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>		・小さなことでも共有し、対応について検討を行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>		・委員会の設置、社内研修への参加を行っている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行ふかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	<input type="radio"/>		・契約時に身体拘束について丁寧に説明し、支援計画にも記載をしている。	